

県道36号線を戸隠牧場から信濃町方面へ下ると、かつて中部電力(株)の発電貯水池があった大橋のわきに駐車場があります。そこに車を置き、県道から山道に入ります。木道が敷かれた林のなだらかな道を行くと、森の中にひっそりと「種池たねいけ」があります。早魃かんばつの時には、この池の水を戸隠の神社に供えて雨乞あまごいの神事が行われるそうです。

しばらく同じような道を行くと、種池よりも大きな「古池ふるいけ」があります。この池の水は、中部電力の発電用に使用されているため、池の周囲はよく整備されています。自然環境はよく保たれ、池の近くには湿原やお花畑があり、早春には白い花咲くミスバショウの群落が見られます。また高妻山周辺の山々を見渡すこともできます。6月の池の水際では、低木の枝に白い泡状の卵のかたまりが見られます。これはモリアオガエルという森林にすむ蛙かえるの卵塊で、ときにはあちらこちらで一匹のメスに多数のオスが抱き付き、産卵をしている光景を至近距離で見ることができます。



古池で見られたモリアオガエルの産卵

古池からしばらく歩くと、急登の連続となり、途中オオルリ